

## 令和8年清川村議会6月定例会 一般質問通告

質問順位	1	質問通告者	2番 小林 大介
質 問 項 目 ・ 要 旨			
1 質問事項			
村内各所への休憩用ベンチ設置について			
質問要旨(内容を具体的に)			
<p>徒歩で移動する高齢者の声として、一休みするためのベンチを村内各所に設置して欲しいという要望を伺っています。</p> <p>健康増進や村内の交通事情という観点からも 意義あるものと言えます。およそ10分程度歩いたら腰を下ろせるくらいの間隔で、景色を眺めながら一休みできるように設置してはいかがでしょうか。</p>			
2 質問事項			
安定的な行政運営のための村職員採用促進と離職防止について			
質問要旨(内容を具体的に)			
<p>清川村職員定数条例によると、村行政を安定的に運営するための職員定数78人、村定員適正化計画によると目標とする職員数は71人となっています。しかし、近年、職員の数や経験年数において、大変厳しい状況となっていることから、以下の点について伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和8年5月1日現在の職種別職員数及び休職中の職員を除いた実働人数は。</li> <li>● 令和8年度4月採用の応募数、採用数、採用倍率は。</li> <li>● 直近5年間の採用者数と定年退職者数及び普通退職者数は。</li> <li>● 直近5年間の性別及び年代別普通退職者数は。</li> <li>● 機構再編や人事配置等以下の取組みへの考えは。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 業務委託への移行による、技能労務職員の一般行政職への配置転換</li> <li>○ 村立幼稚園の在り方見直しによる教育職員の一般行政職への配置転換</li> <li>○ 他自治体や県、関係機関との派遣人事・交流人事の拡大</li> </ul> </li> <li>● 定員適正化計画に基づく業務の整理・簡素化とその効果及び以下の取組みへの考えは。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 村附属機関等の会議体の統合</li> <li>○ 指定管理や業務委託の活用拡大</li> <li>○ 村主催行事の削減・縮小</li> </ul> </li> <li>● 女性目線での「働き続けたい職場」「働き続けるのが難しい職場」の姿についての考えは。</li> <li>● 庁内で「職員の定着率向上を目指した働き方改革推進チーム」を立ち上げてはどうか。</li> </ul>			

## 令和 8 年清川村議会 6 月定例会 一般質問通告

質問順位	2	質問通告者	1 番 岩澤 一幸
質 問 項 目 ・ 要 旨			
1 質問事項			
ごみ収集体制の今後の方向性について			
質問要旨(内容を具体的に)			
<p>近年、全国的にごみ収集業務については、職員の確保やコスト面の観点から、民間委託を導入する自治体も増えております。</p> <p>本村においても、職員数の減少や将来的な人員確保を考えると、ごみ収集体制の維持は重要な課題であると認識しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在の本村のごみ収集体制について、将来的な持続可能性をどのように認識されているのか。</li> <li>・ 民間委託について、これまで検討の経緯があったのか、また、今後の方向性を伺います。</li> </ul>			
2 質問事項			
中学校部活動の持続可能な運営と地域展開について			
質問要旨(内容を具体的に)			
<p>国により進められている中学校部活動の地域展開について、近隣自治体でも動きが始まっておりますが、清川村のような小規模自治体においては、指導者確保や生徒数の面からも難しさが増していくことが想定されます。</p> <p>だからこそ、今後は行政区域を越えた「厚木・愛甲地区」での広域連携が重要になると考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部活動の地域展開に向けた基本的な方向性、また今後、厚木・愛甲地区として広域的に連携していく考えはあるか伺います。</li> </ul>			

## 令和 8 年清川村議会 6 月定例会 一般質問通告

質問順位	3	質問通告者	7 番 細野 洋一
質 問 項 目 ・ 要 旨			
1 質問事項			
高齢者等の移動手段の確保対策と交通費等の支援について			
質問要旨(内容を具体的に)			
<p>本村の高齢化率は約 40%となり、高齢者の生活を守る移動手段の確保が課題となっています。車を運転されない高齢者等の方や免許証を返納された方及び要支援の方、障害者の方などの買い物や医療機関、金融機関など生活に欠かせない施設等への移動は公共交通機関（バス）が中心ですが、運行本数やバス停までの距離が遠い等で利用が困難な方もいられます。</p> <p>そこで快適な移動手段の確保、買い物支援など的高齢者等福祉支援について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 高齢者等の移動手段の確保対策並びに生活必需品等の買い物支援について</li> <li>2 近隣市町の高齢者等福祉サービスとの格差について（タクシー利用券、はり灸等助成、理髪等助成）</li> </ol>			
2 質問事項			
村地域防災計画の改定について			
質問要旨(内容を具体的に)			
<p>全国的に発生している地震、風水害及び山林火災等の教訓を踏まえ災害対策基本法が改正されました。また、最近では長野県北部、茨城県北部で震度 5 弱の地震、そして近い将来、首都圏直下型地震の発生確率が高いと指摘されています。</p> <p>さらには、1月に秦野市、桐生市において山林火災が発生しました。これらを踏まえ村地域防災計画（令和 6 年改定）の修正と災害防止、減災対策、災害発生時の対応など災害に強い村づくりの進捗状況を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 近年の自然災害や山林火災の発生を教訓とした村地域防災計画の改定（修正）内容と経過について</li> <li>2 国は災害時における円滑かつ迅速な避難の確保を目的に避難勧告、避難指示の一本化や自治体の個別避難計画策定を新たに規定したが、村地域防災計画の改定状況と周知について</li> </ol>			

### 3 質問事項

#### 交通安全対策の推進について

##### 質問要旨(内容を具体的に)

新東名高速道路伊勢原大山 IC から新秦野 IC の開通（令和 4 年）以降、村内の主要幹線道路は朝晩の交通量の増加や休日等には、車両・オートバイ・自転車の通行量が増加したと認識しています。

一方、高齢化社会が進行するなかで、高齢運転者の事故や交通ルール順守意識の低下に起因する事故等も課題となっています。

本村の交通事故発生率は、全国平均を若干上回っていると認識していますが、交通事故防止や歩行者の安全及び交通安全意識の高揚など本村の交通安全対策の基本方針を伺います。

- 1 警察署や交通安全団体と連携した取り締まりの強化や交通事故が発生しにくい環境づくりについて
- 2 交通安全は、国・県・市町村・関係団体等が一体となって取り組む重要課題ですが、交通安全対策基本法に基づく交通安全推進計画の策定について

## 令和 8 年清川村議会 6 月定例会 一般質問通告

質問順位	4	質問通告者	4 番 笹原 和織
質 問 項 目 ・ 要 旨			
1 質問事項			
清川村ふれあいセンター「別所の湯」の現状と今後について			
質問要旨(内容を具体的に)			
<p>清川村ふれあいセンター「別所の湯」については、これまでも本議会において、複数の議員から運営状況や料金設定に関する質問・要望がなされてきました。</p> <p>私も、利用者拡大に向けた改善策をいくつか提案し、その一環として Wi-Fi の設置などを取り入れていただきました。しかし、施設の管理運営に係る収支均衡が図れず、多額の一般財源による補填が続いていることが指摘される一方で、利用料金の引き下げを求める声もあり、行政としてもその位置付けに苦慮しているものと考えられます。</p> <p>そこで、現状を整理し将来的な課題を明確にするため、次の諸点について伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) コロナ禍以降の利用状況：利用者数</li> <li>(2) 経営状況：客単価の見込みも含めて</li> <li>(3) 土地賃貸契約の期限とその後について</li> </ul>			

## 令和8年清川村議会6月定例会 一般質問通告

質問順位	5	質問通告者	5番 川瀬 正行
質 問 項 目 ・ 要 旨			
<b>1 質問事項</b>			
自治会のあり方について			
質問要旨(内容を具体的に)			
<p>自治会は、村政運営において非常に重要な役割を担っています。地域住民同士が支え合い、災害時には隣近所で協力しながら対応するなど、安全・安心な地域づくりに欠かせない団体です。</p> <p>しかしながら、各家庭の生活様式が多様化する中、人口減少とともに自治会加入者も減少し、自治会運営が困難になっている地域も見受けられます。そこで、自治会の現状と今後のあり方について、村長の考えを伺います。</p> <p>(1) 現在、村内の世帯数に対し、自治会加入率はどの程度か。</p> <p>(2) 村として、自治会加入促進に向け、どのように取り組んでいるのか。</p> <p>(3) 自治会へ加入することの重要性をどのように考えているのか。</p> <p>(4) 自治会に加入しない、または脱会する主な理由をどのように把握しているのか。</p> <p>(5) 自治会活動の良さや加入するメリットを、今後どのように住民へ伝えていく考えなのか。</p>			
<b>2 質問事項</b>			
村の諮問機関について			
質問要旨(内容を具体的に)			
<p>村の諮問機関は、主に有識者等に委嘱し、村政運営に対する意見や助言を行う重要な役割を担っています。</p> <p>しかし、清川村は、地域が狭く人口規模も小さいことから、同一人物が複数の諮問機関の委員に選出される場合もあるのではないかと考えます。</p> <p>村民の多様な意見や考え方を村政へ反映させるためにも、一部の方に偏ることなく、できるだけ多くの村民が参画し、幅広い視点を取り入れていくことが必要と考えますが、村長の考えを伺います。</p> <p>(1) 現在、村に設置されている諮問機関の数は。</p> <p>(2) 諮問機関委員の選考は、どのような基準や方法で行われているのか。</p>			